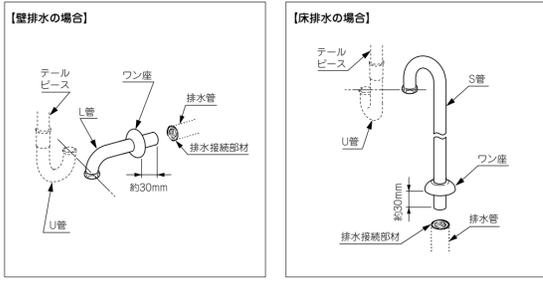
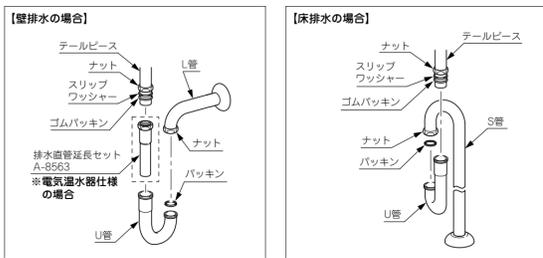


- (2) テールピースにU管を仮付けし、L管またはS管を差し込み約30mmを残して切断します。
 (3) U管を一旦取り外し、先にU管またはS管を、壁または床の排水管へ接続します。
 ※塩ビ管：排水接続部材は市販のゴムジョイント等（現場手配）を使って接続してください。
 ※鉛管：ハンダで溶接して接続してください。



(4) U管をテールピース、L管またはS管に固定します。



サーモスタート付の場合は、「7.水栓機能部の取付け」へ進んでください。

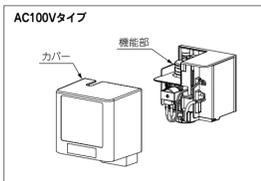
6. 止水栓の取付け

- 【単水栓の場合】**
 給水管取り出し位置を確認し、止水栓を取り付けます。
 ●ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。
 ●自動水栓の止水栓に付いているキャップは機能部を接続するまで取り外さないでください。
 ※キャップ内のOリングが傷つき、漏水の原因になります。
-
- 【床給水の場合（特注）】**
 シールテープを床に対して巻きます。

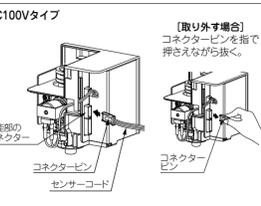
7. 水栓機能部の取付け

1. コードの接続 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

(1) 機能部から、カバーを取り外してください。

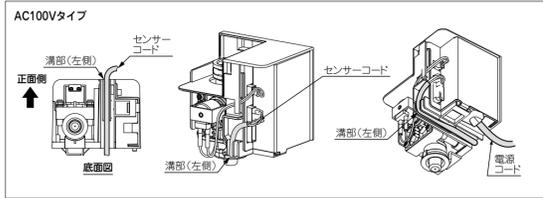


(2) センサーコードのコネクタースピンを手前に向けて機能部のコネクタースピンに差し込みます。



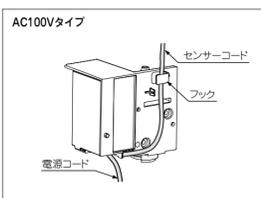
(3) センサーコードを溝部に沿ってはめ込みます。

- センサーコードを正面からみて左側の溝部にはめ込みます。
- 裏側までしっかりとはめ込んでください。
- ※センサーコードが溝部にはまっていなくてカバーの取付け時にセンサーコードを挟み込み、センサーコードが断線する恐れがあります。



(4) センサーコードを機能部の裏のフックに取めます。

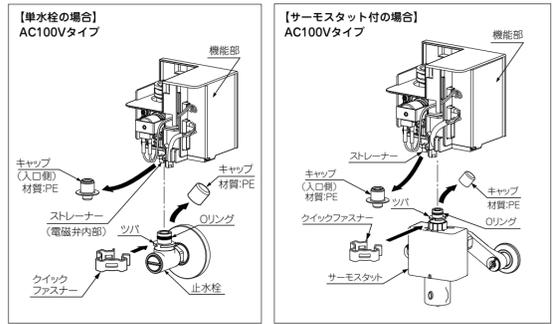
- 電源コードはフックに取めないでください。
- ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。



2. 機能部の取付け (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

(1) 止水栓またはサーモスタートのキャップと機能部の入口側のキャップを取り外し、機能部が正面を向くように止水栓またはサーモスタートのツバと機能部のツバを接するまで差し込みます。

- Oリングを傷ついたり、ゴミがみしらないよう行ってください。
- ※漏水の原因になります。
- 誤ってストレーナーを外さないでください。
- ※ゴミが電磁弁内に入り、故障の原因になります。



(2) 付属のクイックファスナーを接続部（ツバ部）にはめ込みます。
 ●確実にはめ込んでください。
 ※しっかりとはめ込んでいないと漏水やクイックファスナーでケガをする恐れがあります。
 ●機能部を上げてても、クイックファスナーが外れないことを確認してください。

3. 給水チューブの取付け (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

- (1) 給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し、水平に切断します。
 ●給水チューブの取付けには必ず順序を守ってください。
 ※漏水の原因になります。
 ●必ず給水チューブの必要な長さを確認してください。
 ※給水チューブが長すぎると折れ曲がり流量が出なくなる恐れがあります。
 (2) 給水チューブを継手の奥まで差し込みます。
 ●給水チューブを継手から取り外す場合、カッターは使用しないでください。
 ※継手を傷つけ、漏水の原因になります。
-

(3) プライヤー等を使用し、ホースクリップで固定します。
 ※プライヤー等でホースクリップのツバ部分を挟み、ホースソケット段部上へ移動させます。

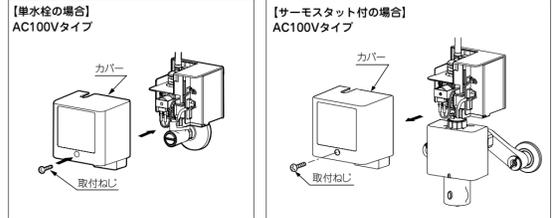
(4) 機能部の出口側のキャップ、継手のキャップ、リングを取り外し、機能部の出口に継手を差し込み、リングで固定します。
 ●Oリングに傷をつけたり、ゴミがみしらないよう行ってください。
 ※漏水の原因になります。

4. バックアップ用乾電池の接続 (アクエナジータイプのみ)

アルカリ乾電池単3形4本を電池の＋表示を確かめて取り付けてください。

5. カバーの取付け (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

- カバーをはめ込み、プラスドライバーで付属の取付ねじを固定します。
- コードをカバーで挟み込まないでください。
- ※コードが断線する恐れがあります。



6. 電源プラグの接続 (AC100Vタイプのみ)

- 電源プラグをコンセントに接続します。
- 電源コードは床につかないように施工してください。
- ※清掃時に電源コードを傷つけないで、水で濡れた際に感電する恐れがあります。

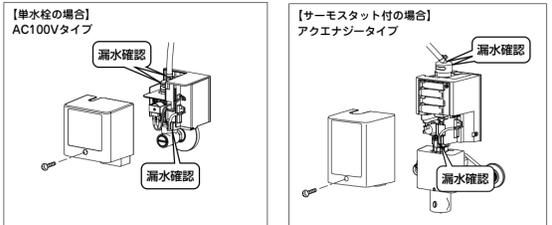
●施工後の調整

1. 通水確認 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

(1) 止水栓または湯側・水側の流量調節栓を開きます。

(2) 手を差し出し、センサーを感知させ、水が出ることを確認します。

(3) 接続部から漏水がないことを確認します。



2. ストレーナーの清掃 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

初期通水後のゴミを取り除くため、ストレーナーの掃除を以下の要領で行ってください。

(1) 止水栓または湯側・水側の流量調節栓を閉じます。

(2) 手を差し出し、センサーを感知させ、止水確認、圧抜きをします。

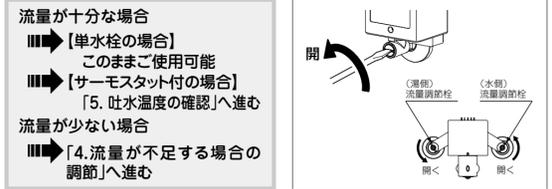
(3) カバー、クイックファスナーを取り外し、機能部を上方向に持ち上げ、止水栓から取り外します。

(4) 電磁弁の中に取まっているストレーナーを取り出し、ストレーナーのゴミを洗い流します。
 ※清掃時に定流量弁を紛失しないようにしてください。
 ※水が垂れる場合があるため、止水栓の下にタオルなどを置いてください。

【サーモスタート付の場合】
 (3) マイナスドライバーで流量調節栓外側のストレーナーホルダーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。
 ※水が垂れる場合があるため、流量調節栓の下にタオルなどを置いてください。

3. 流量の調節 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

- マイナスイドライバーで止水栓または流量調節栓を全開にします。
- 節水のため定流量弁を装着しているため、一定以上の流量（3.0L/分以上）は出ません。
- 流量の目安は500mlの容器いっぱいにするのに約10～15秒。



4. 流量が不足する場合の調節 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

低圧の現場や電気温水器との組み合わせで流量が不足する場合は、定流量弁を取り外して流量を調節する必要があります。

【単水栓の場合】
 (1) 止水栓を閉めた後、電磁弁の中に取まっている定流量弁を取り外します。
 ●定流量弁を取り外した後、必ずストレーナーを電磁弁に取り付けてください。
 ※ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が電磁弁内につまり故障の原因になります。
 ※水が垂れる場合があるため、止水栓の下にタオルなどを置いてください。

(2) マイナスイドライバーで止水栓を回し、流量を調節します。
 ●流量の目安は500mlの容器いっぱいにするのに約10～15秒。

【サーモスタート付の場合】
 (1) 流量調節栓を閉めた後、電磁弁の中に取まっている定流量弁を取り外します。
 ●定流量弁を取り外した後、必ずストレーナーを電磁弁に取り付けてください。
 ※ストレーナーを取り外してしまうとゴミ等が電磁弁内につまり故障の原因になります。
 ※水が垂れる場合があるため、サーモスタートの下にタオルなどを置いてください。

(2) 温度調節ハンドルを水側いっぱいまで回し、吐水の状態を確認しながらマイナスイドライバーで水側の流量調節栓を調節してください。その後、温度調節ハンドルを湯側いっぱいまで回し、吐水の状態を確認しながら湯側の流量調節栓を調節してください。
 ●流量の目安は500mlの容器いっぱいにするのに約10～15秒。

5. 吐水温度の確認 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

【サーモスタート付の場合】
 温度調節ハンドルは、工場で調整していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか、次の手順で確認してください。
 温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示ガイドに合わせ、吐水口から吐水させます。

吐水温度が表示通りの場合
 III▶ そのままご使用可能
吐水温度がズレている場合
 III▶ 「6. 温度調節ハンドルの調整」へ進む

6. 温度調節ハンドルの調整 (AC100Vタイプ、アクエナジータイプ共通)

【サーモスタート付の場合】
 (1) 吐水温度が温度目盛には関係なく40℃になるように、温度調節ハンドルを回します。

(2) 吐水温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、温度調節ハンドルを抜き取ります。
 ●キャップを外すと、温度調節ハンドルは手でひっぱるだけで外れます。

(3) 抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示ガイドに合うように温度調節ハンドルを回して、キャップをはめ込みます。

●引渡前の確認

現象	点検内容	処置	参照項目
止水しない	止水栓または流量調節栓は開いていますか？ 【AC100Vタイプの場合】 電源プラグはコンセントに差し込まれていませんか？ 【AC100Vタイプの場合】 ブレーカーを確認する。停電中の場合は回復するまでお待ちください。 【アクエナジータイプの場合】 バックアップ用乾電池が正しくセットされていますか？ バックアップ用乾電池の交換方法	止水栓または流量調節栓を開く。 コンセントに電源プラグを差し込む。 ブレーカーを確認する。停電中の場合は回復するまでお待ちください。 バックアップ用乾電池の交換方法	流量の調節 — —
吐水しない	センサーの表面が汚れていませんか？ センサーコードがコネクタースピンに差し込まれていませんか？ ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりはありませんか？ 断水中ではありませんか？	汚れをふき取る。※1 センサーコードをコネクタースピンに差し込む。 ゴミ等を除去する。 ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除 回復するまでお待ちください。	取扱説明書 (P.13) — ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除
流量が少ない	止水栓または流量調節栓を全開にしていますか？ ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりはありませんか？ 水圧が低いのですか？	止水栓または流量調節栓を全開にする。 ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除 ゴミ等を除去する。	流量の調節 — ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除
流量が多い	給水チューブが折れ曲がっていませんか？ ストレーナー内の定流量弁が取り外れていませんか？ 低圧の現場の場合、定流量弁を取り外した後、流量を調節しましたか？	折れ曲がらないよう長さを調節する。 定流量弁を取り付ける。 流量を調節する。	— 流量の調節 流量の調節
止水しない（勝手に吐水する）	センサーの前に障害物はありませんか？ センサーの表面が汚れていませんか？	障害物を取り除く。 汚れをふき取る。※1	— 取扱説明書 (P.13)
吐水が乱れる	泡沫口にゴミ詰まりはありませんか？ 吐水口接続部から水漏れする	ゴミ等を除去する。 泡沫口をしっかり締める。	泡沫口の掃除 泡沫口の掃除
吐水口からボタボタ水が落ちる	施工時に配管内のゴミを流しましたか？	ストレーナーの掃除を行う。また定流量弁を外し、大流量で吐水を行い、水栓内の細いところを洗い流す。	ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除
高温が出ない	【サーモスタート付の場合】 水側の流量調節栓は十分に開いていますか？	流量調節栓を全開にする。	流量の調節
低温が出ない	【サーモスタート付の場合】 給湯器の設定温度は希望の温度より低いもしくは同じくらいになっていませんか？ 【サーモスタート付の場合】 湯側の流量調節栓は十分に開いていますか？	給湯温度を50℃以上60℃以下に設定してください。 流量調節栓を全開にする。	— 流量の調節
温度調節がきかない	【サーモスタート付の場合】 流量調節は適正ですか？ ストレーナーや泡沫口にゴミ詰まりはありませんか？ 【サーモスタート付の場合】 温度調節ハンドルの設定は適正ですか？	流量を調節する。 ゴミ等を除去する。 温度調節ハンドルの調整をする。	流量の調節 ストレーナーの掃除、泡沫口の掃除 温度調節ハンドルの調整の仕方

※1：センサーの表面の汚れをふき取る場合、キズをつけないようにしてください。

【泡沫口の掃除】

流量が少なかったり、水の出が乱れてきてストレーナーの掃除をしても解消されない場合は、泡沫口のゴミまがりを考えられます。
 次の手順で掃除してください。
 (1) 止水栓または湯側・水側の流量調節栓を時計回りいっぱい、逆時計回りに回します。
 (2) センサーに手をかざして水を出し、水が止まったことを確認します。
 (3) 排水口の中に部品を落とすおそれがあるため、排水口の上にタオルなどを置いてください。
 (4) 付属の取外工具で泡沫口を矢印の方向に回して取り外し、ゴミを洗い流してください。
 ※泡沫口のバックンを傷つけないよう注意してください。
 (5) 取外工具で泡沫口を時計回りに止まるまで回し、取り付けます。
 (6) 止水栓または湯側・水側の流量調節栓を逆時計回りに回します。
 ※バックンはよじれないように泡沫口の中に入れて、取付面と平行に吐水口に取付けてください。
 ※掃除した後は泡沫口をしっかり締めてください。
 ※通水時に必ず水漏れの確認を行ってください。

【完了後の処理（必ず実施してください）】

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。
 取外工具は、取扱説明書と一緒にお客様に必ず渡してください。